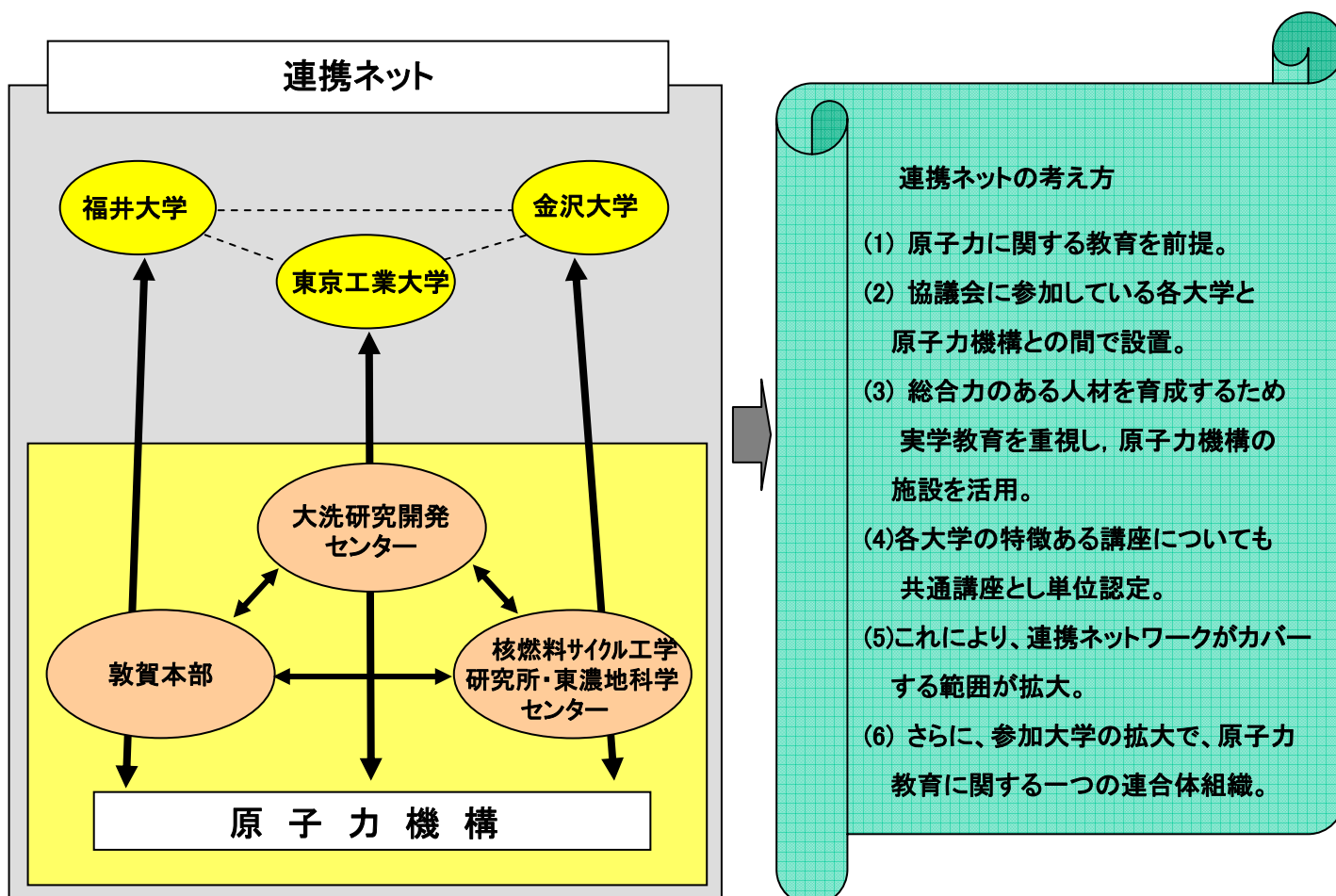


## 原子力教育大学連携ネットワークの共通講座について

## 1. 原子力教育大学連携ネットワークの設置について

原子力機構と金沢大学、東京工業大学及び福井大学は、連携大学院制度を活用して核燃料サイクル分野の原子力人材育成を図るために、3大学と連携大学院に係る原子力機構の研究開発拠点（東海研究開発センター、大洗研究開発センター、敦賀本部）が中心となって、新たな原子力人材育成システムとして「教育研究等に係る連携・協力推進協議会（連携大学院ネットワーク）」を平成17年7月に設置した（旧核燃料サイクル開発機構と3大学で覚書を締結、平成19年度から「原子力教育大学連携ネットワーク」に名称変更(略称：連携ネット)）。

## 原子力教育大学連携ネットワークによる原子力教育



## 2. 原子力教育大学連携ネットワークの連携講座開設

原子力教育大学連携ネットワークでは、3つの大学院及び原子力機構の緊密な連携・協力により、将来の原子力技術を担う若手の人材育成の推進、原子力に関する研究者及び技術者の養成、及び現在までに培われた原子力技術の継承のために、以下について目指すこととした。

- ・遠隔授業と実習を組合せた効率的な教育カリキュラムの開発（共通講座）
- ・原子力機構及び各大学間における遠隔授業（遠隔教育システム）
- ・座学で得られた知識を確実に身に付けさせるための学生実習（学生実習プログラム）

その具体的な展開として、平成18年度から教育カリキュラムの検討、共通講座に必要な遠隔教育システム及び教育実習機材の整備を行い、平成19年度から共通講座を実施することとなった。

また、平成18年6月26日から30日に学生実習を茨城地区(東海研究開発センター、大洗研究開発センター)にて実施した。

以上

# 平成18年度合同学生実習

- 期間 : 平成18年6月26日～30日 参加学生 : 18名 (福井大、金沢大、静岡大)  
内容 : 核燃料サイクル工学概論、放射線計測実習、原子炉工学、放射性廃棄物、中性子科学 他  
場所 : 核燃料サイクル工学研究所、原子力科学研究所、大洗研究開発センター  
その他 : 核燃料サイクル施設見学を付加(再処理、プルトニウム燃料施設、常陽等)

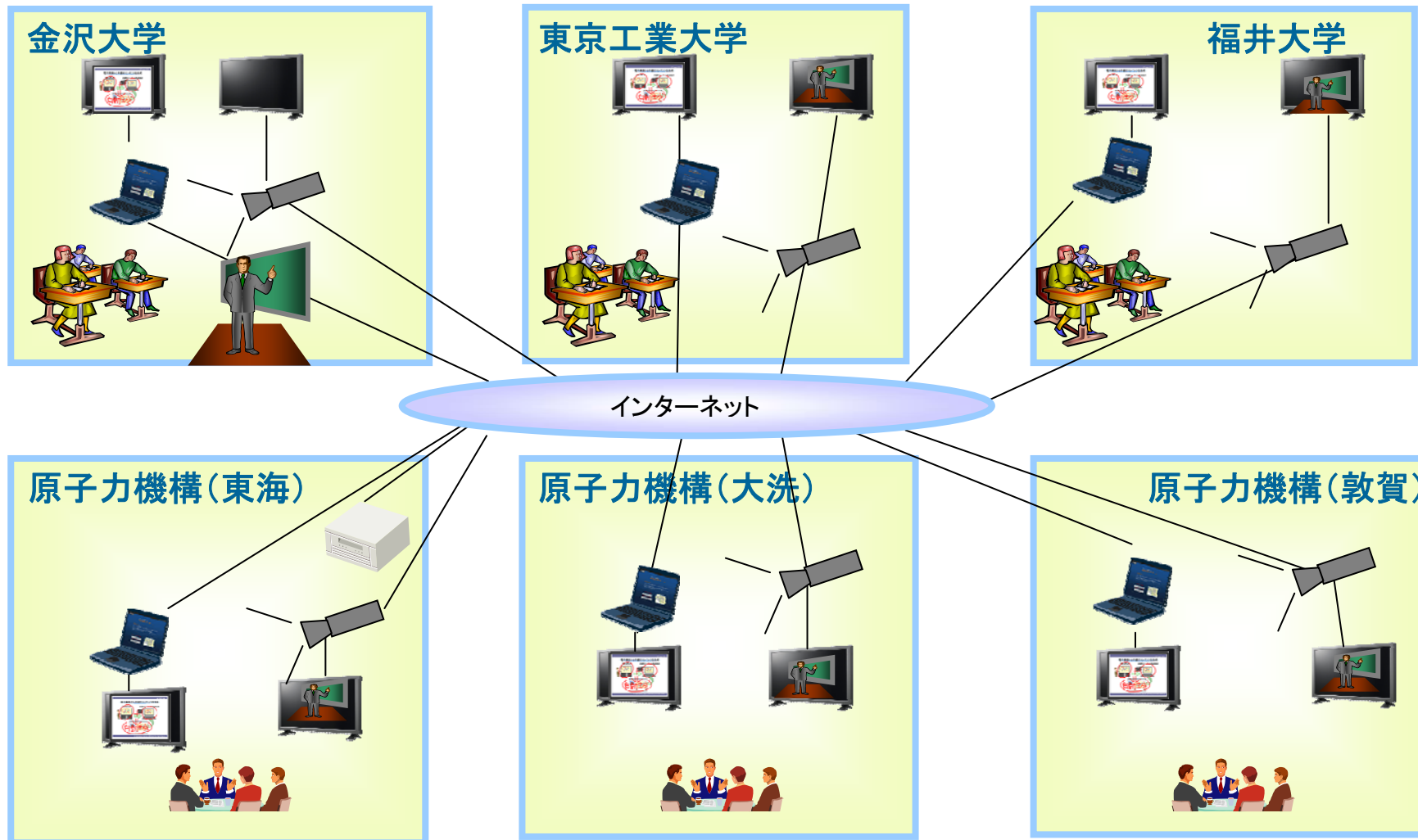


線量測定実習



施設見学「常陽」

# 遠隔教育システム:ネットワーク構成概念



金沢大学から講義を配信しているイメージ、全拠点からの配信可能

# 遠隔教育システム:拠点システム概念

